



センターだよりの作成で 京都工芸繊維大学と連携

総合教育センターだより8月号は、京都工芸繊維大学デザイン専攻の学生にデザインを依頼しました。これは、センターの研修講座やセンターの事業をより良く理解してもらえるような紙面づくりを目指した新しい取組です。



6月実施のセンター講座「学校広報講座」では、「読み手に伝わる効果的な広報」について悩みを抱えている学校の様子が交流されました。そこで、今回の取組を通じて、「広報誌をデザインする際の考え方」等のヒントも提供できればと考えています。

11・12月講座 申込受付中!! 「やってみたい」から「できる」へ

先生方の思いを実現できる第一歩になるような講座を用意しています!! 《講座の一部を紹介します》



できる①

チーム一丸となって よりよい組織を作ることができる

- No.544 11月13日(金) 校内研究推進講座
- No.701 11月20日(金) 危機管理講座(センター)
- No.702 11月27日(金) 危機管理講座(北部)
- No.802 12月7日(月) 副校長・教頭・事務長講座

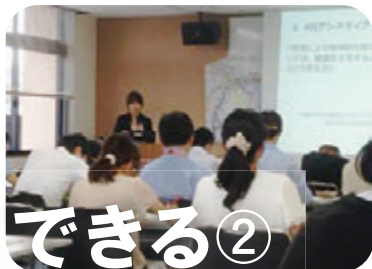
申込期間

市町(組合)立学校(園)

8/31 ~ 9/18

府立学校

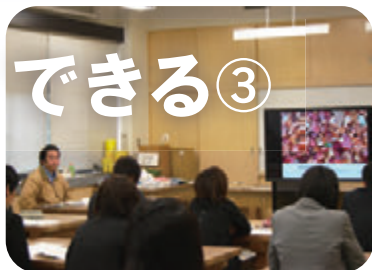
8/31 ~ 10/8



できる②

一人一人のニーズに合わせた 指導ができる

- No.522 11月26日(木) 特別支援教育<基本>サテライト「体づくり」講座—重度重複~通級の指導—
- No.523 11月30日(月) 特別支援教育<基本>サテライト「各教科等を合わせた指導」講座
- No.534 12月15日(火) 特別支援教育<推進>京都教育大学サテライト「自立と社会参加」講座
- No.535 11月10日(火) 特別支援教育<推進>京都教育大学サテライト「保護者連携」講座



できる③

自由な発想を育むことができる

- No.423 12月7日(月) 小学校「みて、感じる図画工作(立体表現)」講座(センター)
- No.424 12月8日(火) 小学校「みて、感じる図画工作(立体表現)」講座(北部)

センターマスコット
センタ君



学級全員の学力を伸ばそう！

ユニバーサルデザイン授業

連載
第1回

ユニバーサルデザイン授業とは、授業づくりに特別支援教育の視点を加味して「どの子にもわかりやすい授業」を追求するものです（図1）。小学校、中学校、高等学校、特別支援学校全ての校種の授業に必要な視点です。全5回の連載記事として、ユニバーサルデザイン授業の基本的な考え方や具体的な実践事例を紹介します。



ユニバーサルデザイン授業の研究の詳細をまとめました。指導に活かすことができます!!
ITECからダウンロードすることができます!!

第1回は「**アセスメント**」の考え方についてお伝えします。

通常の学級には、教科の得意・不得意、学習への意欲、学習内容の理解力や学び方など様々な違いのある子どもが在籍しています。学級全体の様子や、子どもたち一人一人の特徴を捉えることを「アセスメント」と呼びます。アセスメントを基にして授業や環境を改善することがユニバーサルデザイン授業のポイントです。図2にアセスメントのポイントを示します。

アセスメントを行い、得られた情報は学年や教科担任、特別支援コーディネーター等で共有し、チームで授業改善を行うと効果的です。



図2 アセスメントのポイント

学級の アセスメントのポイント

- 子どもたちの関係
- 授業への集中
- 発表や話し合いの様子

気になる子どもの アセスメントのポイント

- 学び方の特徴
- 物事の捉え方の特徴
- 行動の背景を考える

授業の改善へ

今回は、「**ユニバーサルデザイン授業に必要な発達障害の知識**」について掲載します。

実施した講座の様子を随時、ITECで紹介!!

平成25年度より、実施した研修講座の一部を紹介しています。講座の内容や講座風景の写真、受講者の感想等を掲載しています。今後も随時更新していきますので、講座の様子を知っていただき、今後の受講の参考にしてください。

メインメニュー



- ITEC > 研修講座
- > 実施した講座の紹介
- > 小学校理科教育基礎(生命)講座

